



精神科看護管理ニュース

Vol. **75**

発行 日本精神科看護協会

2020/10/17

1 精神科救急医療体制整備に係るワーキンググループが開催されています

10月2日に、「第2回精神科救急医療体制整備に係るワーキンググループ」が開催されました。このワーキンググループは、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムを構築推進する観点から、必要なときに必要な医療を受けることができる精神科救急医療体制の確保の再整備に努めるため設置されました。

第1回ワーキンググループ（8月28日開催）では、精神科救急情報センターと24時間精神医療相談窓口機能が似通っている等の指摘があり、第2回の議論でも、自治体によって設置の考え方や危機介入（トリアージ機能含む）の程度等が不明確であるとの意見が出ていました。そのような意見を受け、厚労省は次回のワーキンググループ開催までに精神科救急情報センターと24時間精神医療相談窓口に関する調査を行う予定としています。

詳細は、厚生労働省のホームページをご確認ください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/other-syougai_322988_00008.html

2 令和3年度厚生労働省予算概算要求の概要が公表されました

厚生労働省の概算要求額は、一般会計総額32兆9,895億円。昨年度当初予算比0.01%増で過去最大となると発表されました。新型コロナウイルス対策予算は感染状況や経済情勢の変動が見込まれるため、多くの要求を項目にとどめ、金額は盛り込まれていません。年末にかけての予算編成で金額を詰める予定ですが、厚労省によると、最終的な要求額は数兆円増える見通しということです。

1) 看護職員関係予算

○医療従事者働き方改革の推進

- ・ 特定行為に係る看護師の研修制度の推進 7.5億円（6.9億円）
- ・ 医師事務作業補助者・看護補助者の確保・定着支援 89百万円（10百万円）

- 本ニュースは、配信を希望された日精看会員の方にメールかFAXでお送りしています
- 本ニュースのPDFは日精看ホームページ「看護管理者の部屋」でダウンロードできます
- 配信の中止、配信先の変更は、日精看事務局までお知らせください
- 日精看事務局 〒108-0075 東京都港区港南2-12-33 品川キャナルビル7F tel 03-5796-7033 fax 03-5796-7034

1/2

○住み慣れた地域で適切な医療サービス等が受けられる体制整備

・在宅医療の推進 28百万円（28百万円）

・人生の最終段階における医療・ケアの体制整備 1.2億円（1.2億円）

2) 精神障害者施策の推進

○障害福祉サービスの確保、地域生活支援などの障害児・障害者支援の推進

・障害児・障害者への良質かつ適切な医療の提供 2,604億円（2,604億円）

○障害児支援の推進

・医療的ケア児への支援の拡充【一部新規】（一部再掲・76ページ参照）8.1億円+緊要（5.8億円）

○地域移行・地域定着支援などの精神障害者施策の推進 218億円+緊要（216億円）

・精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築【一部新規】 8.1億円（6.4億円）

・精神科救急医療体制の整備 17億円（17億円）

・心神喪失者等医療観察法の医療提供体制の確保など 190億円（190億円）

・依存症対策の推進（一部再掲・2（2）参照）9.8億円（9.3億円）

・発達障害児・発達障害者の支援施策の推進 6.4億円+緊要（6.3億円）

・障害者への就労支援の推進 184億円+緊要（180億円）

詳細は、厚生労働省のホームページをご確認ください。

<https://www.mhlw.go.jp/wp/yosan/yosan/21syokan/>

3 予備費を活用した医療機関への更なる支援について

厚生労働省より、新型コロナウイルス感染症対策予備費を活用した、医療機関への更なる支援策についての事務連絡が発出されました。詳細は日精看ホームページの新型コロナウイルス感染症対策ページをご確認ください。

<http://www.jpna.jp/covid-19.html>

-
- 本ニュースは、配信を希望された日精看会員の方にメールかFAXでお送りしています
 - 本ニュースのPDFは日精看ホームページ「看護管理者の部屋」でダウンロードできます
 - 配信の中止、配信先の変更は、日精看事務局までお知らせください
 - 日精看事務局 〒108-0075 東京都港区港南2-12-33 品川キャナルビル7F tel 03-5796-7033 fax 03-5796-7034